

土木工学科3年生が丁張研修会を実施

6月23日(水)に、長野県建設業協会長野支部から14名を講師としてお招きし、丁張設置の研修会を実施しました。講師の方々は、実際の現場で責任者となる現場監督をされている方々です。

授業とは異なり、実践的な方法も教えていただきながらの作業でした。設置する前の計算方法や、設置する時のコツなどを教えていただき、計算したとおりの設置ができました。講師の方々に普段の仕事の話聞くこともでき、有意義な学習を行うことができました。

丁張（ちょうはり）とは？

道路や水路を作るとき、土を掘ったり盛ったりする。この土を掘ったり盛ったりするときの、角度や位置のものさしが丁張です。道路の工事現場に丁張（木の板）が建てられていますので、見てみてください！



★講義（午前中）

丁張の設置方法と、必要な計算方法の講義を受けました。

★実地実習（午後）

6班に分かれて、測量機器や道具を使い、午前中の計算を基に丁張をグラウンドに設置しました。杭を打ち込んでいる時に曲がってしまったり、釘がうまく打てなかったり、方法を教えていただきながら正確に設置していきました。



設置し終わった丁張を、他の班のものと見通して、正確にできたか確認しました。

最後に講師の先生方と集合写真を撮影しました。

今回の講師の中には、本校卒業生の方もいらっしゃいました。これからの進路を考える上で、将来の自分の姿を想像しながら取り組むことのできた、実りの多い実習となりました。